



はっほうちょう  
秋田県八峰町

教育機関との  
連携

農福連携

青森

★  
秋田

岩手

山形

宮城

福島

はっほうちょう の う り ん し ん こ う か

## ⑧八峰町 農林振興課

「世界が認める」生薬の郷を目指して



(八峰町生薬実証圃:キキョウの栽培状況)



カミツレ収穫体験:秋田県立金足農業高校



キキョウを活用した薬膳料理メニュー

### 取組の効果

#### 【活用内容及び成果】

- ・近年は全量を海外輸入に頼っていた生薬原料のキキョウについて、八峰町が生薬原料の国内生産に着手し、栽培普及に至る。
- ・カミツレについても栽培指針と調製乾燥作業体制を確立し、特産品開発を支援することにより食品原料の流通拡大を進めながら栽培規模拡大を目指している。

#### 【学生・児童への教育や体験】

- ・カミツレ収穫が手作業であることを活かして、学校教育や生薬PR等の観点から毎年町内小中学校の収穫体験、高等学校の収穫体験や職場体験、福祉団体の収穫体験や視察研修等を積極的に受け入れて交流人口の確保に努めている。
- ・平成30年度には、社会とのつながり支援事業を活用して、ひきこもり者をカミツレ生産組合の収穫作業に受け入れることで社会復帰を促すという活動にも取り組んでいる。

### 概要

生薬原料のほとんどを中国からの輸入に頼っていることから、世界的な生薬需要の高まりから、平成24年度から栽培実証に取り組んでいる。



しょうないまち  
山形県庄内町

食育・教育

企業との連携

青森

秋田

岩手

★山形

宮城

福島

かぶしきがいしゃ いではこうぼう  
⑨株式会社 いで葉工望

「すこやかな赤ちゃん葉っぱを 庄内の大地から」



ベビーリーフ栽培ハウス内部



子ども食堂で「ベビーリーフ」の栽培方法を説明



地元ラーメン店とコラボ商品を開発し提供

概要

他業種とのコラボレーションによるメニューの開発、子ども食堂との連携による食育活動、半農×半ITを実践した。

取組の効果

【経営基盤の確立】(ハウス棟数36棟)

・ハウス設備、機械設備等の投資をし、これにより積雪地域でも周年栽培と出荷が可能となりました。

【地域内他産業との連携】

・レストランやスーパーでの販売に加え、「ベビーリーフ入り白湯ラーメン」「わかば餃子」、自社トマトを使用した「サルサソース」を開発。

【ボランティア団体との連携】

・地域の「子ども食堂」と連携し、児童へ「ベビーリーフ栽培キット」を提供し、食育活動に取り組んでいます。

【地域雇用の拡大と新農業の在り方を模索】

・地域雇用創出に加え、愛知県のIT企業との連携によるダブルワークを試験的に実施。





まるもりまち  
宮城県丸森町

農林漁業、  
農村文化体験

6次産業化

青森

秋田

岩手

山形

宮城  
★

福島

やしま てつろう  
⑩八島 哲郎

身も心もホッとするみんなの故郷を目指して



店の隣が手入れした竹林、2階が干柿の干場



美味しいたけのこをいつでも食卓へ

## 概要

直売所の運営とともに、農作業体験や、出張販売、SNS等多様なチャンネルを活用し、地域活性化を図っている。



干柿づくりは晩秋の恒例行事になっている

## 取組の効果

### 【やしまの運営】

・春のたけのこ、秋の柿をメインに、旬の山菜や地元食材を並べている。地元住民のため食料品も販売。地元食材メインのランチの提供も行い、観光客を呼び込んでいる。

### 【6次産業化】

・孟宗竹のたけのこを使用したレトルトカレーやごはんの素を開発・販売。令和3年度はハチクのたけのこを使用した「破竹の勢い！たけのこカレー」を開発。  
・また、干柿(ころ柿)をビターチョコでコーティングした「あなたのハートいちころチョコ」も開発・販売。

### 【農作業体験会等による交流活動】

・たけのこ掘り体験が恒例となっていたが、コロナ禍により令和3年度は代わりに竹林を案内する“竹林さんぽ”を始めた。

・干柿づくり体験会は、「弘法柿組合」で関東からのバスツアーを7年連続で受入れている。ザンビアからの研修生も10年以上も継続し、国際交流にも貢献している。